

概要

福島民友新聞社では、福島第一原発事故後、屋外で遊ぶ機会が少ない子どもたちに思いきり体を動かしてもらおうと、2013年10月20日に福島市の福島体育館で第1回「親子大運動会 in ふくしま」を実施しました。参加者は、同市私立幼稚園協会所属幼稚園の園児と保護者ら約140人です。

玉入れや綱引きなどの幼児向け競技や、親子で参加する障害物競走、記念撮影など盛りだくさんの内容で、親子で存分に楽しんでもらうことが出来ました。

福島市私立幼稚園協会が共催し、幼児体育研究所の協力、福島市、同市教育委員会、NHK福島放送局、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島テレビ、ふくしまFMの後援、東邦銀行の特別協賛、アポロガス、トヨタレンタリース福島、ドコモショップ福島西店・伊達店、福島人材派遣センターの協賛を得ています。

企画が生まれた背景や意図・ねらい

福島民友新聞社が展開している「復興支援プロジェクト」の一環として、放射線の影響で屋外遊びを制限されている子どもたちが元気に体を動かす機会を提供し、子育てに不安を抱える保護者を支援することが目的です。また運動会を通して、福島市内の幼稚園児と保護者に目いっぱい遊んでもらい、紙面を通じてその模様を発信することで、放射線による風評被害の払拭にもつなげたいと考えています。



「親子大運動会」開会宣言



親子で楽しむエアロビクス



円陣を組んで勝利を誓い合う園児ら



「親子大運動会」を報じる特集紙面（左）と記事（右）
 （福島民友新聞 2013年11月9日付）

反響

第1回は、あいにくの雨で屋内での開催となりましたが、参加者からは「楽しかった」「また開いてほしい」など、うれしい声が寄せられました。当日は競技ごとに号外を発行し、参加者全員に提供するとともに、翌日の朝刊1面、3面、地域版で運動会の模様を紹介、全県に福島市の幼稚園児の「元気」を発信しました。参加者や協賛企業からいただいた前向きな評価を糧に、次年度以降も継続開催する予定です。

福島の子どもにも思いきり遊んでもらうために